

夢 ひ ら く 未 来 へ の 道

関門海峡道路

関門地域の見どころ
 ~関門地域の交流連携を支える拠点~



響灘ハブポート構想
 (環黄海圏における中枢国際港湾
 平成15年度第1期供用予定)



下関沖合人工島ひびくらんど構想
 (コンテナ基地や国際フェリー基地を中心とした物流拠点
 平成18年度一部暫定供用予定)



エコタウン
 (環境産業、リサイクル産業の拠点)



北九州学術・研究都市構想
 (早稲田大学の大学院など学術研究機関の拠点、
 平成13年から一部開学)

スペースワールド
 (北九州一の集客拠点)



北九州市立美術館
 (市民生活に密着したリビングミュージアム)



小倉城
 (13世紀半ばに築かれた名城)



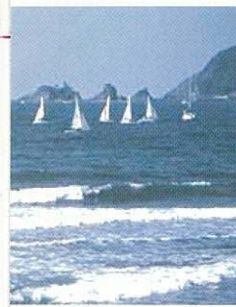
新北九州空港
 (平成17年開港予定の新空港)



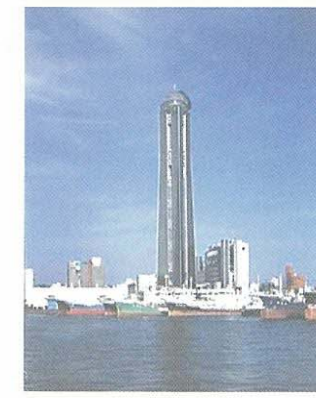
山陰海岸
 (日本海側から)



豊浦町へと続く美しい海岸



海峡メッセ
 (国際会議場などがある多目的複合施設)



城下町長府
 (武家屋敷や練塀が並び城下町の風情を伝える城下町)



海響館
 (平成13年4月オープンの新水族館で、
 あるかぼーと下関構想の一環)



門司港レトロ地区
 (ネオ・ルネッサンス様式の駅舎等レトロ調の街並み)



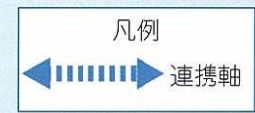
海峡花火大会
 (毎年8月に両市合同で開催される花火大会)



楽しい遊び場や
 文化施設など
 充実しているのね。
 関門海峡道路で
 便利になるわ。



関門海峡道路

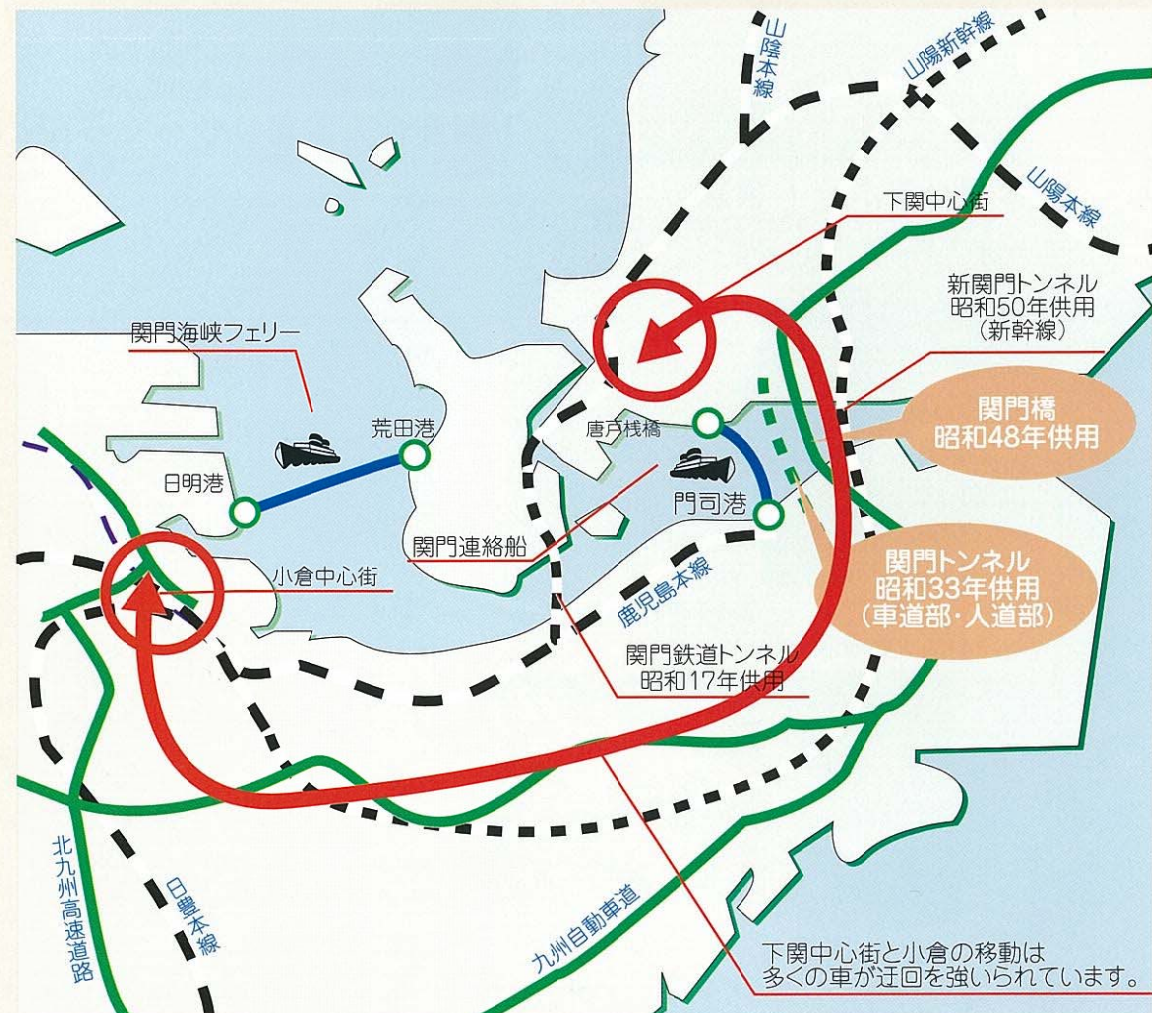


関門地域が一つの生活圏として一体化します！

下関中心街と小倉の移動は多くの車が迂回を強いられている

現在の関門国道トンネルおよび関門橋は門司にあり、下関中心街と小倉との移動では、多くの車が迂回を強いられています。また、北九州・下関両市間の交通が関門国道トンネルに集中し、周辺では定常的な道路混雑が生じています。

現在の関門地域



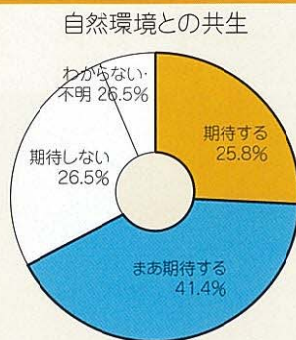
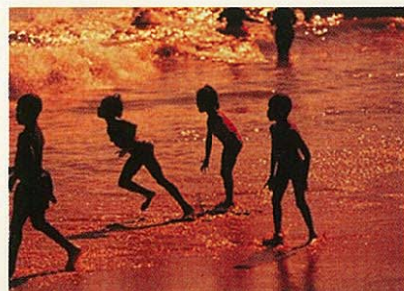
関門海峡道路によりひとつの生活圏として一体化する関門地域

関門海峡道路が整備されることで、北九州市から日本海側へアクセスしやすくなり、海水浴などのレクリエーション活動の拡大につながります。逆に下関市から北九州小倉へアクセスしやすくなることで、下関市民が北九州市の病院や商業施設等の利用頻度が増えます。また、関門海峡道路により両市民の芸術文化活動や国際交流活動、観光等の交流活動が活発化するとともに、自然環境の優れた下関市に住み、北九州市で働くライフスタイルが増えるなど、新しい住まい方が展開されます。

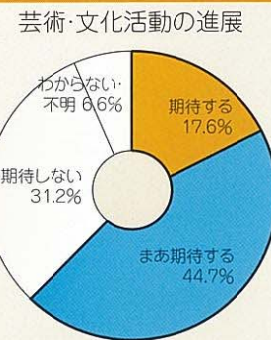
将来の関門地域



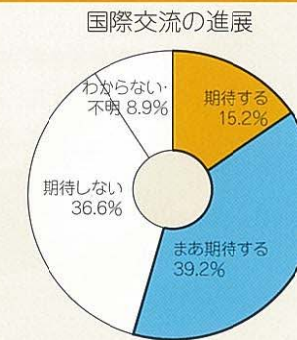
市民の交流ニーズは高い！ 市民は関門地域の将来について、以下のようなイメージを強くいただいています。



■自然環境との共生
 ・主人とともに、下関市の山陰海岸や北九州市日明に釣りに行くことが多いです。関門海峡道路ができれば釣りや遊びに活用したい。(20代女性、下関市在住)
 ・関門都市圏には海、山の豊かな自然が残されています。将来も自然豊かな都市圏であってほしい。(50代男性、下関市在住)



■芸術・文化活動の進展
 ・両都市が一つになって互いに施設利用、相互交流、共同開催などを進めれば芸術・文化活動はもっと活発化する。(60代男性、下関市在住)
 ・身体障害者の人も気軽に参加できる芸術・文化活動が展開されるようなまちにしたい。(30代女性、下関市在住)

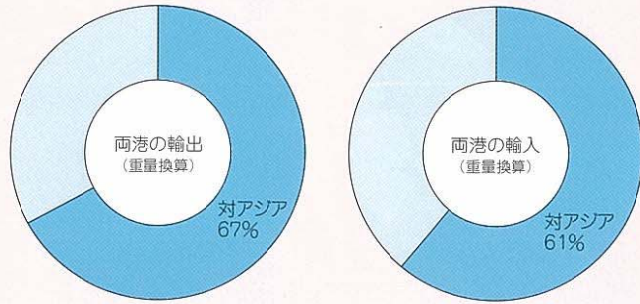


■国際交流の進展
 ・今でも関釜フェリーを使って外国人が多く訪れています。将来も門司港や下関港など関門都市圏の港や新北九州空港などを通してもっと多くの人が外国から訪れているでしょう。関門海峡道路を活用して周遊観光して関門の良さを知ってもらいたい。(60代男性、北九州市在住)
 ・北九州学術・研究都市、北九州大学など大学を中心とした国際交流が進むでしょう。(50代女性、北九州市在住)

物流拠点間の連携によって、アジアの成長を受けとめます！

アジアとの交易が盛んな関門地域

関門地域は地理的に韓国・中国と近接していることから、両港の輸出入貨物の総トン数合計に占めるアジアのシェアは、輸出・輸入ともに6割を超えています。アジアとの交易が盛んな関門地域は、他の地域よりもアジアの経済成長の影響をより強く受けると考えられ、大幅に増加する対アジア輸出入港湾貨物を利用して、関門地域の経済の活性化が可能となります。



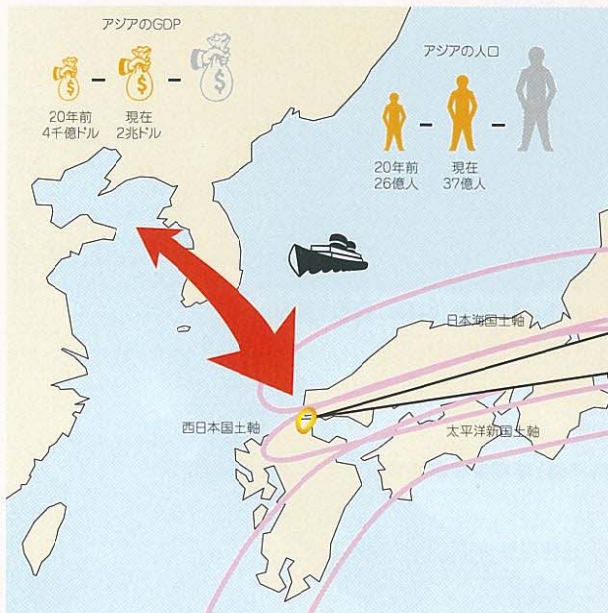
北九州港及び下関港の輸出入貨物の総トン数合計に占めるアジアのシェア
北九州港と下関港の輸出入貨物の総トン数合計に占めるアジアのシェアは、輸出67%、輸入61%と非常に高く、物流面で関門地域はアジアと密接な関係にあります。

注) 港湾統計(平成9年)より作成

関門海峡道路により関門地域の物流機能の効率化を進めます

関門地域は、貿易などの面で、アジアとの交流が今以上に増加する地域と考えられ、20年後には現在の2倍～3倍のアジアとの港湾貨物を取り扱うことになると予想されます。この交易の拡大を受けとめるためには、関門海峡道路を活用して、分散された物流機能を一につなぎ、関門地域の物流機能の効率化を図ることが不可欠です。

多くの国際交流・国際物流拠点が存在する関門地域



注) GDP:国内総生産のことで、一定期間内に、その国内で新たに生産された生産物を合計したもの。

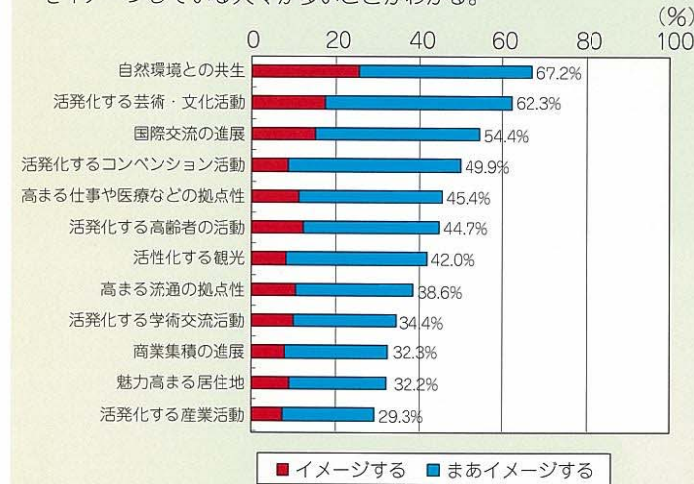
有識者のコメント アジアとの連携は重要！

- 関門海峡道路により、北九州の響灘地区と下関の沖合人工島とが結ばれることで、アジアからの貨物の一大流通拠点が形成されます。釜山港と対抗する上では、関門地域の物流拠点の役割分担が必要です。
- 関門海峡道路により両市の企業間の連携が促され、新しいビジネスが生まれる可能性があります。特に、アジアに関連する産業の展開が考えられます。

市民アンケートから市民のニーズが浮かびあがります！

関門地域の将来像

関門地域の将来像として、自然環境を大切にしながら、芸術・文化及び学術的な活動が活発に行われ、人が行き交う活発な都市圏をイメージしている人々が多いことがわかる。



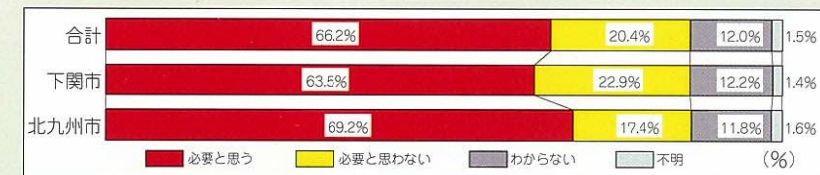
今後整備が望まれる交通施設等

今後整備が望まれる交通施設等について要望が強いのは、①下関市内の交通機能の整備、②関門海峡道路の整備、③関門海峡を結ぶ鉄道の充実・整備の順となっている。



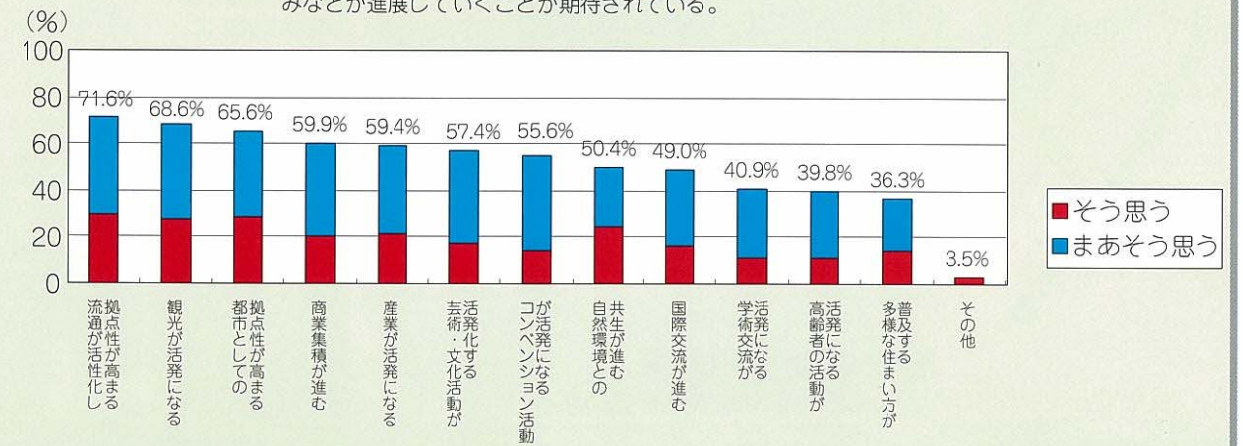
関門海峡道路の必要性

全体では、66%の市民が『必要』、20%の市民が『不必要』、12%の市民が『わからない』という回答であった。北九州市民の方が『必要』とする割合が高くなっている。



関門海峡道路の影響・効果

関門海峡道路により、流通や産業面の活発化及び観光の活発化が期待されている。また、商業や通勤など身近な日常交流が進展するとともに、芸術・文化活動や自然環境をいかした取り組みなどが進展していくことが期待されている。



市民アンケートの対象

北九州・下関両市民に、関門海峡の将来像や関門海峡道路の必要性等について、住民意識を調査するため、市民アンケートを実施した。調査は両市の住民基本台帳から無作為に各1,500名を抽出し、計3,000名を対象に、平成11年11月～12月に実施した。回収数は683票であり、回収率は約23%です。